2026.
7.1発行
第78号

KATANOSEIYU

交野星友

令和8年　涼風

発行責任者
交野市星友クラブ連合会
会長　青山　雅宏
編集
市星連広報部

「交野星友 第78号」おもな記事

第55回 市星連
グラウンドゴルフ大会の模様……P.1
令和8年度市星連総会の模様……P.2
令和8年度年間活動計画……P.3
令和8年度市星連各部会の一覧……P.4
市星連役員及び単位クラブ会長一覧/行事予定…P.5
市星連ボウリング大会/カラオケ交流会……P.6
グラウンドゴルフ大会/自転車反則金…P.7
「ごみゼロの日」の各クラブの活動報告…P.8-9
会員投稿「私の健康法」……P.10-12
交野の民話「交野の森の蛙石」……P.13
対談 市長×会長・副会長
「交野の高齢者の今は」……P.14-15
今号の一番星CLUB「森友クラブ」…P.16

TOPIC

令和8年度市星連総会

新態勢・新方針を満場一致で確認

令和8年5月7日㈭午前10時より、ゆうゆうセンター多目的ホールにて、「令和8年度 交野市星友クラブ連合会通常総会」が単位クラブ会長全員出席のもと開催されました。**総会では議長に市星連副会長の吉坂泰彦氏（私部長寿会）が選出され、山本市長による来賓挨拶の後、以下の議題について審議が行われました（①令和7年度の活動報告と決算 ②令和8年度の事業計画と予算 ③役員態勢の確認）。**結果、満場一致の賛成で採択され、青山雅宏会長（倉治さんゆう会）と役員のもと、進めることとなりました。

「人生100年時代」をともに

交野市星友クラブ連合会 会長　**青山 雅宏**

署中お見舞い申し上げます。猛暑と熱帯夜の続く中、いかがお過ごしでしょうか。高体温になると、汗の蒸発が鈍くなり、体内に熱がこもり、熱中症のリスクが高まります。患者の半分は高齢者です。予防のポイントは、暑さを避けるのが一番です。①屋内ではエアコンや扇風機を利用しましょう。②外出時は涼しい服装で、日傘・帽子を着用し、こまめに休憩を取りましょう。③喉の渇きを感ずる前に、水分を補給しましょう。

65周年の昨年度、市星連のビッグニュースです。それは、会員数が3年ぶりに前年より増加したことです。23単位クラブ中、11クラブが会員増、3クラブが変わらず、会員減は9クラブでした。来る9月4日㈮の第68回大阪府老人クラブ大会で、私部長寿会・寺みどり会・倉治さんゆう会・笑和会が、「加入促進クラブ表彰」を受けることが内定しました。**会員増の要因は、①単位クラブのサロン・同好会の活動内容の充実**です。健康麻雀とカラオケの人気が高まっています。**②会員が仲間を紹介する「プラスワン運動」**が広まってきました。**③広報誌「交野星友」のリニューアル化**の効果です。文字が大きくなった・写真がカラーで見易い、そして何より、内容が充実していると好評です。会員数の倍以上の発行部数で、会員増のツールと役目を十分に果たしています。これまでに、十数名の会員増がありました。

本年度の新しい行事として、①8月20日㈭市星連主催の第1回「健康麻雀」大会、②9月29日㈫SC大阪北河内ブロック第1回「公式ワナゲ」大会を企画しています。会員皆様の奮っての参加をお待ちしています。

総会の様子

結びになりますが、厳しい暑さを乗り切って、「人生100年時代」を、明るく・楽しく・元気で頑張ろうではありませんか。

交野市星友クラブ連合会 令和8年度 活動計画

月	日時	事業名	備考
7	1㈬ -	「交野星友」涼風号、ねんりんOSAKA発行	市星連、府老連の機関紙
	13㈪ 9:30	第11回市星連体力測定会（健康チェック）	多目的ホール
	22㈬ 14:30	高齢者交通安全リーダー研修会	多目的ホール
	30㈭ 13:00	第38回市星連ボウリング大会	枚方Wave34
8	16㈰ 12:30	会長および各部会員懇親会	多目的ホール
	20㈭ 12:00	第1回健康麻雀大会	多目的ホール
9	4㈮ 13:00	第68回大阪府老人クラブ大会	大阪府社会福祉会館
	20㈰ -	全老連「全国一斉社会奉仕の日」	各単位クラブにて実施
	25㈮ 13:30	健康づくり大学校 開講式	大阪府社会福祉会館
	29㈫ 12:00	SC大阪・河内ブロック主催 公式ワナゲ大会	守口市南部コミュニティーセンター
10	3㈯ 12:30	交野市老人福祉大会・星友クラブ大会	交流ホール
	20㈫ 14:30	第29回交野市・交野星友クラブ俳句大会	多目的ホール
	21㈬ 8:00	第15回市星連ゴルフ大会	交野カントリー倶楽部
11	8㈰ 9:45	交野市健康福祉フェスティバル	ゆうゆうセンター
	未定 10:00	第15回市星連健康ウォーキング	-
	未定 14:00	第6回市星連公式ワナゲ大会	-
	20㈮ 13:30	健康づくり大学校 閉講式	大阪府社会福祉会館
	26㈭・27㈮	全国老人クラブ大会	鳥取県
	未定 8:45	第56回市星連グラウンド・ゴルフ大会	パシオン情熱Stadium（私部公園グラウンド）
12	2㈬ 12:00	SC大阪公式ワナゲ大会	Asueアリーナ大阪（大阪市中央体育館）サブアリーナ
令和9年 1	1㈮ -	「交野星友」新春号、ねんりんOSAKA発行	市星連、府老連の機関紙
	17㈰ 12:00	会長および各部会員新年会	多目的ホール
2	未定 13:00	SC大阪市町村老連女性リーダー研修 SC大阪市町村老連女性代表者会議	大阪府社会福祉会館
	未定 13:00	第39回市星連ボウリング大会	枚方Wave34
3	未定 9:30	第11回市星連カラオケ交流会	交流ホール
	未定 -	決算役員会	-

※会長会は毎月、各部会は随時開催。

令和8年度　交野市星友クラブ連合会 部会表

部会	活動内容	担当役員兼部会長	副部会長	企画委員
総務部会	①本会の総務を担当し、各部門の調整を行う ②年度活動計画および予算の企画、立案を行う ③交野市老人福祉大会・星友クラブ大会および健康福祉フェスティバルの総括運営を行う ④研修会、講演会の企画、立案、運営を行う ⑤地域社会との交流および、地域貢献奉仕活動を考察し、実践する	青山（倉治）	吉坂（私部） 泉原（寺）	早川（星田山手） 山口（藤が尾） 東林（幾野） 山岸（向井田） 安西（妙見東） 西村（郡津）
広報部会	①機関紙「交野星友」の編集と発行 ②府老連機関紙「ねんりんOSAKA」発行協力 ③府、市、星友クラブの活動情報の調査と伝達	吉坂（私部）	山下（天野が原町）	吉兼（私市山手） 大崎（青山） 藤原（星田西） 天野（森） 小林（藤が尾）
スポーツ部会	スポーツ活動を中心に健康寿命を伸ばすため、仲間と楽しく、心豊かな活動を進めるとともに、会員増加につながる活動の強化と拡充を図る。 ①グラウンドゴルフ大会（年2回） ②ボウリング大会（年2回） ③体力測定会（健康チェック） ④ゴルフ大会 ⑤健康ウォーキング ⑥公式ワナゲ大会 ⑦その他の新規の活動	安西（妙見東）	西村（郡津）	小松（青葉台） 田中（星田） 山本（南星台） 早川（星田山手） 津村（倉治） 小菅（梅が枝） 日野（幾野） 斉藤（星田山手） 塩口（天野が原町） 一上（星田西） 兼光（妙見東）
文化部会	健康寿命を伸ばすため、仲間と共に楽しく、心豊かな活動の企画、立案、運営を行う。 ①交野市福祉大会・星友クラブ大会・第2部演芸の部 ②健康福祉フェスティバル作品展 ③俳句大会（年1回） ④カラオケ交流会 ⑤健康麻雀大会　⑥その他の新規の活動	泉原（寺）	山口（藤が尾）	金光（梅が枝） 森川（駅前住宅） 奥村（倉治） 田淵（妙見東） 横山（寺） 高山（私市山手）
災害時要援護者支援部会	地震をはじめ風水害等の自然災害が多発しているため、支援態勢を交野市危機管理室・健康福祉部・地域の区及び自治会・民生委員・自主防災会等と連携し強化する。 ①会長会メンバーで、交野市災害時避難行動、要援護者事業の研修会を実施 ②各単位クラブ会員の情報実態掌握をする ③防災センターの見学、研修会の企画・立案と運営 ④会員の見守り活動と、災害時支援のわ（和・輪）について考察する	東林（幾野）	山岸（向井田）	上田（松塚） 戸田（妙見坂） 谷辻（ホーム明星） ※単位クラブ全会長

市星連役員及び単位クラブ会長 一覧表

役職	地区	単位クラブ名	氏名
会長	倉治	倉治シニアクラブさんゆう会	青山 雅宏
副会長	私部	私部長寿会	吉坂 泰彦
副会長	寺	寺みどり会	泉原 健榮
会計	星田山手	星田山手熟年会	早川 三郎
書記	藤が尾	藤が尾あけぼの会	山口 利子
監事	幾野	幾野星友クラブ	東林 修
監事	向井田	星友クラブ向井田白寿会	山岸 忠昭
壮年部会長	妙見東	妙見東やわらぎ会	安西 節代
壮年部副部会長	郡津	郡津和交会	西村 定男
	青葉台	青葉台老人クラブ	小松 和夫
	青山	青山長寿会	大崎 春茂
広報部副部会長	天野が原町	天野が原町星友クラブ	山下 正樹
	梅が枝	梅が枝シニアクラブ	金光 弘安
	駅前住宅	駅前住宅はつらつ会	森川 清美
	私市山手	私市山手さわやかクラブ	吉兼 哲夫
	南星台	南星台星寿会	山本 見年子
	星田	星田寿会	田中 勉
	星田西	星田西遊友クラブ	藤原 富世
	松塚	シニア松塚	上田 肇
	妙見坂	妙見坂かがやきクラブ	戸田 喜之
	森	森友クラブ	天野 守
	ホーム明星	ホーム明星	谷辻 浩
	全域	交野市星友クラブ笑和会	青山 雅宏

行事予定

以下の催しの日程が決まりました。和気あいあい、楽しみましょう!
※参加については、各単位クラブにお問い合わせください。

7月30日（木）
第38回
市星連 ボウリング大会
会場：枚方Wave34

8月20日（木）
第1回
市星連 健康麻雀大会
会場：ゆうゆうセンター 多目的ホール

9月29日（火）
府老連河内ブロック
第1回 公式ワナゲ大会
会場：守口市南部コミュニティーセンター

よろしくお願いします! 新任会長紹介

安西 節代
（妙見東）

藤原 富世
（星田西）

お疲れさまでした! 退任役員の方々

西尾 喜久男
（妙見東）

坂口 秀三郎
（星田西）

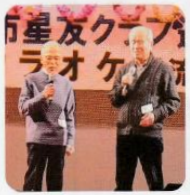
第37回 市星連ボウリング大会

第37回市星連ボウリング大会が2月19日㈭WAVE34で開催され、59名の会員が参加し、熱戦を繰り広げました。

大会結果

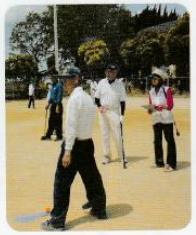
1 優勝 江端定雄さん（写真中央/倉治）
2 準優勝 足立勇さん（写真左/郡津）
3 三位 黒川二郎さん（写真右/幾野）

第10回 市星連カラオケ交流会



3月11日㈬に、ゆうゆうセンター交流ホールで開催。81組が参加。交野各地で歌唱指導をしている日本マーキュリーレコードの「住たかしさん」をゲストとして招き交流を深めました。

第55回 市星連グラウンドゴルフ大会



5月13日㈬、パシオン情熱スタジアムで開催。参加者68名。初夏の青空の下で、汗をかきながら楽しみました。

男性の部 大会結果

1 優勝 井川利宏さん（写真中央/倉治）
2 準優勝 竹田稔さん（写真右/私市山手）
3 三位 多田和弘さん（写真左/向井田）

女性の部 大会結果

1 優勝 青山亀子さん（写真中央/倉治）
2 準優勝 清水松代さん（写真左/私部）
3 三位 花牟礼栄子さん（写真右/妙見東）

ルールを知って、自転車に正しく乗ろう

令和8年4月1日、交通反則通告制度（青切符）が施行されました。

自転車安全利用5則を守って安全運転を心掛けましょう!

1 車道が原則、左側を通行。歩道は例外、歩行者優先。
2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認。
3 夜間はライトを点灯。
4 飲酒運転は禁止。
5 ヘルメットを着用。

違反の一例

- 遮断踏切立ち入り 反則金 7,000円
- 通行区分違反（右側通行等） 反則金 6,000円
- 無灯火 反則金 5,000円
- 信号無視（赤色） 反則金 6,000円
- 一時不停止 反則金 5,000円
- ブレーキ不備等 反則金 5,000円

警察官の指導や警告を受けた場合はすみやかに従わなければなりません。

5/30(土) 松塚地区全域　参加者29人

5/30(土) 区内の道路・公園　参加者24人

5/15(金) リニアパーク南公園　参加者11人

5/31(日) 源氏の滝参道　参加者19人

5/17(日) 天の川公園周辺　参加者18人

6/8(月) 集会所および周辺　参加者15人

府下一斉 ごみゼロの日

5/30(土) 郡津神社内児童公園　参加者8人

5/31(日) 寺会館周辺　参加者27人

6/10(水) 集会所周辺　参加者16人

5/29(金) 南公園　参加者13人

6/21(日) 森区民ホール　参加者24人

5/30(土) 私部会館周辺　参加者22人

5/24(日) 第二京阪側道　参加者12人

5/23(土) 向井田集会所周辺　参加者25人

5/14(木) 中央公園・自治センター周辺
参加者19人

5/25(月) 町内の公園・街路　参加者13人

活動報告

大阪府老人クラブ連合会(SC大阪)は、5月30日を「ごみゼロの日」と設定し、例年、府下の各市町村老連に「環境美化や保護・清掃活動」を呼びかけています。市星連もその訴えに応え、22の単位クラブが行動しました。(順不同)

5/23(土) 区内の清掃　参加者13人

5/16(土) 今池公園　参加者11人

5/24(日) 自治会館および周辺　参加者30人

5/30(土) 旧長宝寺小学校周辺
参加者17人

5/17(日) 妙見坂3丁目付近の低木剪定
参加者11人

5/30(土) 星田公園　参加者14人

投稿会員

テーマ 私の健康法

今回のテーマは、「私の健康法」。「人生100年時代」と言われる中、会員各位は様々な健康法を実践して効果を上げています。その一端を披露していただきました。参考にして、健康に過ごせるようにしましょう。

朝のラジオ体操から

早川　三郎（83歳）　星田山手熟年会

毎朝6時30分からのラジオ体操グループ例会に参加し、ラジオ体操をすると共に親しい仲間と談笑する時間を楽しんでいます（正月三が日だけ休会）。

学校のある日は、子どもたちの安全を守るため、また、自分の健康維持・増進に繋がればと思って街角に立ち、その勢いを借りて3，000歩程の散歩をしています。仲間たちと話しながらの散歩ですので全く苦無しの散歩です。

熟年会（老人クラブ）で行なわれているサークル活動にも積極的に参加するようにしています。歩こう会・スカイクロス・太極拳・カラオケ・輪投げ・麻雀などのサークルに参加し、ゲームを楽しむと共に**他愛のない話をしながらの時間は一人では得がたい体験ですし、時には腹の底から笑えることもあり生活の苦労（？）も吹き飛ぶ思いです。**

健康だから出来るのか、やることで健康を得ているのか人それぞれでしょうが、いずれにしても**そこにある機会を上手く利用して少しでも健康維持・増進に繋がればと思っています。**熟年会（老人クラブ）の活動は最も手近にある利用しやすい内容だと思い、お仲間とも大いに利用していこうと話し合っています。

90歳の道を超えて

江森　利夫（91歳）　天野が原町星友クラブ

2025年5月7日に90歳の道を元気に迎えられました。**目標に歩んできた90歳の壁をのり越えた事に対し、天野が原町星友クラブの皆様方から温かいご支援を頂き感謝申し上げます。**

これからも、元気アップ体操、敬老の集いおよび健康福祉作品展等に参加し、多くの道を進んで行き、そこから新しい道が開けて来るでしょう。

2025年10月4日には、交野市星友クラブ連合会から卒寿を迎えた祝寿証を授理し、90歳を実感しました。2025年10月27日は結婚記念日60周年を迎え、京都のホテルに宿泊しディナーを楽しみました。8月には新しいカメラを購入し、3台のカメラを行く場所に合わせて選んで撮影を楽しんでいます。

かたの写真同好会にも出席し、撮影会と作品展示会に**積極的に参加して活動しています。**

また、小学校4年生の孫が第21回大阪こども「本の帯創作コンクール」にて、朝日新聞京都総局長賞を受賞し、家族と表彰式会場へ。そこでも記念撮影を楽しみました。孫のためにも長生きして、多くの記録写真を残してやりたいです。

人生100年時代を生きていくためにも、今来た自分の道をゆっくりと、95歳の壁に向かって登り道を歩き、進んで行きます。

私の人生はこれからだ、頑張っていきたい。

脳の健康に心掛けて

川村　有喜子（82歳）　寺みどり会

生涯、健康のために足腰は大事と気にかけていましたが、思いがけなく「筋膜炎」という耳慣れない病気になり、膝下の手術を2度経験しました。筋肉が落ち、神経もおぼつかなくなりましたが、なんとか生活はできており、今はデイサービスのおかげで現状維持を保たれています。

体はともかく、物忘れも多くなり先々に不安もありますが、**「せめて脳の健康を心掛けなければ」と、好きなパズルやクロスワードに取り組んでいます。**また、90歳を過ぎても和裁をされておられた友人のお母さんを見習い、**私も自分の身の回りのものをリフォームしたり、洋裁や編み物に励んでいます。**

以前のように出歩けないため、「手元の材料が少なくて」と友人にこぼしたところ、ありがたいことに布を届けてもらい、それらを工夫しながら作っています。

若い頃から長く暮らす間に、身についてしまった自分自身の「ほころび」。それを見直し、丁寧につくろいながら、日々を転ばぬように気をつけて過ごしています。

転ばないでネ

関根　充子（78歳）　藤が尾あけぼの会

私は昨年、お友達と枚方へ食事に出かけた際、左足のかかとを骨折してしまい、3ヶ月ほど入院して孤独な日々を送りました。

たまたま入院先で知り合った方が同じ交野の方で、お友達になり、おしゃべりをすることで気が紛れました。**今は週2回のカラオケやお友達との会話を楽しみ、すっかり元気になりました。**

皆さんも、転ばないように気をつけて元気に過ごしましょうね。

週2回の硬式テニス

山本　忠（81歳）　南星台星寿会

健康法を尋ねられたら、**病気もせず、健康そのものの毎日を送っています。最高です！**

「週2回の硬式テニス」と答えたいです。火曜日と木曜日、1時間40分、びっしりとテニスに取り組んでいます。とにかく体を動かし、汗を流して、体を使いきりたいのです。

1945年3月生まれのため、2026年5月現在81歳ですが、若い者には負けません！　65歳の定年以降続けているこのテニスのおかげで、

ストレスを貯めない

小林　勲二（86歳）　藤が尾あけぼの会

私は現在、脊柱管狭窄症とひざに水がたまる症状があり、痛くて歩行が困難な状態です。それでも週6回、ゲートボールに通っています。ゆっくりしたスポーツなので、皆さんに助けてもらいながら楽しんでいます。

また、**カラオケが大好きで、月曜日にはグループの仲間と3時間あまり歌っています。**

元気よく大きな声を出すことは、体にいいのではないかと思っています。

ただ、健康には良くないのですが、お菓子をたくさん食べてしまいます。残念ながら、いくら注意されても止めることはできません。この歳になると、好きなことをして、食べたいものを食べ、ストレスをためないのが私の健康法です。

まず始めること

戸田　喜之(85歳)　妙見坂かがやきクラブ

健康とは、心と身体の両面で成り立っていると思います。どちらが欠けても健康とは言えません。言い換えれば、気力と体力。その中でも気力が一番。気力があれば、体力は付いてくるものだと考えています。

さらに、**日常の生活習慣を「キチンとすること」も大事だと考えます。**規則正しい日常生活。朝から夜寝るまでの時間をできるだけ一定に保つように努力する。これも大事です。朝決まった時間に起き、決まった時間に朝食を取り、そして決まった予定で一日を過ごす。難しいことかも知れませんが、それらを継続して実施。語り尽くされたことではありますが、**やはり「継続は力」だと思います。いかに続けるか、それに尽きると思います。やはりこれも、気力によるところが大きいです。**

私も継続していることがあります。(あまり胸を張って自慢できるようなことではありませんが…)

その①　妙見坂地域のボランティア組織「ふれあい会」が運営する「ラジオ体操」が、今年5月で満5年を迎えました。正月三が日と雨の日以外、休みはありません。ここに毎日参加するのも気力です。いかにこの気持ちを自分に言い聞かせるかにかかっています。

その②　**もう一つが「ウォーキング」。毎日8000歩を目標に続けています。**中々目標通りの結果は出ませんが、とにもかくにも継続すること。その一点のみに目標を決め、日々実践しています。

最後に、私の人生の基本信条(少しオーバーかも)は「始めなければ始まらない」が全てです。**事を始めるのに中々スタートが出来ないことは多いものですが、まず躊躇なく始めることが大事。**始めれば何か結果が出るはず。そしてさらに進める。これですべて解決するのではないでしょうか。

くよくよ考えない

森川　清美(79歳)　駅前住宅はつらつ会

健康法といっても特別なことはありませんが、しいて言えば**「物事をくよくよ考えない」こと、そして食事でしょうか。昔、母から「よく噛んで腹8分目にしなさい」と言われました。**人間は腹いっぱい食べたくなってしまうものですが、それを8分目で止めておく。そうすれば次の食事を美味しく食べられるようになるよ、と母から教わりました。

友人から「もっと食べなあかんで」と言われることもありますが、私はその「腹八分目」を守っています。私の家は貧しかったので、腹8分目が丁度よかったのです。

それと運動です。**今はラージボールの卓球やコーラス、健康マージャン、カラオケなどで身体を動かしています。それと睡眠も大事ですよね。**できるだけ夜9時には就寝し、大体7時間は寝るようにしています。夜中に目が覚めることも滅多にありません。

暴飲暴食はせず、**定期的に健康診断も受けています。これからも健康第一で過ごしたいと思います。**

交野の民話「交野の森の蛙石」

交野古文化同好会　副会長　向井　克喜

交野市森南2丁目の「灯篭辻」には、2基の大きな石灯篭が立っており、その隣には南(奈良・郡山方面)を向いた蛙形の石があります。この石にまつわる民話をご紹介します。

今大河ドラマで話題の豊臣兄弟で豊臣秀吉の弟秀長が郡山城に天正13年(1585年)に入城、大坂城を守る重要な拠点として大規模に拡張普請をした頃の昔話と思われます。

この民話は交野の歴史研究家奥野平治先生著「ふるさと交野を歩くひろい話」で紹介され、最近星田の廣岡昌子先生著の「交野枕の草子」に纏められたものを基に紹介します。

交野の森の蛙石(帰る石)

野の里の森村はほんにのどかな良え村や

その森村では昔から「森男に私市女」と云われる。森の男は優しい働き者で私市女は情が深い、こんな二人が所帯を持てば、ほんに良え夫婦がでける。

今は昔安土桃山時代森の百姓由松は私市のお種と惚れあい森村の城戸(村の入口)で所帯を持った。この夫婦は僅かな田畑を耕作して生計を建てていた。ところがある日庄屋様が来て「由松よ、郡代様からのご命令だが大和の国の郡山城の普請に森からお前が出てくれ、各村から数名の呼び出しがあるので明日是非郡代の処に出頭してほしい。」こんな命令があった。

郡山城址

由松は親類や近所の人達にお種の事をお願いして郡代様の処に行ったところ多くの人々が来ていた。郡代様から大坂城に入ってそれから郡山へ出向いてくれとの事で、郡山城に連れて行かれた。

時々夫から無事を知らせる便りが来た。「郡山城では石垣の石を各地から運搬している。もう3か月もしたら工事も完了する。」と知らせてきた。

その後夫由松からの音信のない日が続いた。夫は元気で働いていてくれるとは信じているものの音信がないので寂しかった。3か月も過ぎたのに夫は帰ってこない。他の村の人々は1人、2人と帰ってきたのに夫由松は帰って来ない。帰ってきた人達に由松の様子を尋ねたが誰も知らなかった。ところがある人の話に、城の石垣が崩れ数名の死傷者が出たということであった。

お種さんは庄屋に行って由松の安否を聞くが、庄屋は郡山に問い合わせるとの返事だけであった。お種さんの事を村の人々が囁くようになった。お種さんは庄屋様のすぐ下の灯篭辻に立ち、郡山からの道を見ながら夫の帰りを待ち続けたが夫の姿は見えることがなかった。村の人々が淋しく夫の帰りを待つお種さんの気持ちを慰めてみても、いよいよお種さんの悲しみは日増しに大きくなり涙の乾くことはなかった。

そのうち、お種さんの行方がわからなくなった。関係先をも探したが不明であった。村の人達はお種さんの行方を捜しているうちにいつもお種さんが立っていた灯篭辻に郡山からの帰ってくる道を見るように蛙の様な石があるのを気が付いた。お種さんは由松の帰りを帰るのを待ちきれず石になったのではないか、誰が言うとはなしに世間の口に上った。

「由松の帰り待ちかね蛙石
石となりてもなお待つお種」

(廣岡　朧　昌子)

対談

交野の高齢者の今は

―市長と会長・副会長との対談―

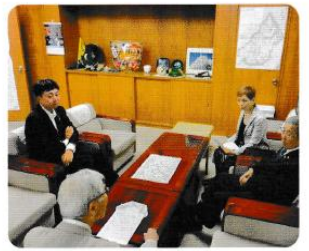
本日は、山本市長が就任されて4年の節目を迎えられたので、『交野の高齢者の今は』をテーマで、皆さまとザックバランにお話しできればと思います。山本市長、交野市星友クラブ連合会の青山雅宏会長と泉原健榮副会長にお越しいただきました。そして、司会を務めます副会長の吉坂泰彦です。どうぞよろしくお願いいたします。（以降、敬称略）

司会　最初に青山会長から。この4年間の交野市政の印象はどうでしたか？

青山　4年前、市政をどうするのかというときに、大きな課題が2つありました。**一つは、少子化が進む中での『教育問題』。小学校・中学校の施設の統合の可否。あと一つは、市独自の『ゆうゆうバス』の廃止と京阪バスの路線便数の廃止と減便への対応でした。**教育問題については多くを語りませんが、市民特に高齢者にとってのバスという公共交通の重要性は言うまでもありません。これからも議論が必要と思いますが、より良い市民の足・移動手段として『おりひめバス』が更に発展してほしいと思います。

市長　私も大変驚きました。市長就任直後から京阪バスは、『減便・路線廃止』を次々と打ち出して来たのです。当然、市民からは、『何とかして』という多くの声。市域の半分が山地という交野で、傾斜地に住宅を構えている市民が多いという現実。私は、この問題の解決こそが市政を一歩前に進めることだと思い、**『市民の理解のもとに、市費を投入し、バスを走らせよう』と思いました。それが、昨年度からの『おりひめバス』の運行です。**

泉原　『おりひめバス』には本当に助かっています。私は寺地区の『傾斜地』に住んでいますが、これまでは連れ合いが運転する車で、よく駅まで乗せてもらっています。今は、『おりひめバス』を利用する機会が増えました。連れ合いもいつまでも運転できませんから。それに今年は、無料パス券を増やしていただいたので大助かりです。



司会　そうですね。バス券だけでなくタクシー券も6千円に増額となりましたし、市民の声を聞いてこの7月から路線の改善をされるとのこと。バス・タクシーという移動手段の確保は、買い物や通院などだけでなく、高齢者などの『外出』のきっかけとなり大変ありがたいことです。

市長　そうなんです。**『外出』をすることで、人と人とのコミュニケーションが図れ、健康寿命の延伸に繋がりますし、買い物等による経済波及効果も期待できると思います。**昨年の統計ですが、府下33市で、交野市民の健康寿命は、「男性81．2歳・女性85．7歳」と第1位なんです。

青山　喜ばしいことですね。**私達の星友クラブ連合会は、高齢者同士のコミュニケーションを図るための組織で、市の協力をいただきながら、単位クラブの役員さんをはじめ、文化・スポーツ活動に励んでいます。**ゴルフやカラオケなど10を超えるジャンルで、大会や交流会を開いていますが、大変な人気です。今年は新たに健康麻雀大会の開催も予定しています。

市長　担当課より報告を受けています。私も時々挨拶に呼ばれたりしていますが、大変な盛況ぶりですね。こんな催しができるのは、市星連と

星田地区の防災倉庫と防災公園

いう組織があり、そこに行ける・集まれるという移動手段と機会・場所があるからだと思うのです。私は、そうした活動を支えることは市としてもとても大切なことだと思っています。

司会　昨年には『青年の家』にエレベーターが設置され、今年は『青年の家図書室』の機能が大幅に拡充するんですね。図書館のように『行きたい場所』が増えることは嬉しいことです。また、第1中学校跡地の活用の検討も着実に進んでいるようですね。

市長　お陰様で。市民のご要望と議会のご協力で、一歩一歩進んでいます。大人も子ども、あちこちで学べたり、運動できるような環境作りを、と考えています。そうした学びや運動を行うことの前提になるのは市民の皆さんの『安心と安全』だと思っています。**行政として、避難所の整備や防災グッズの確保など地震・台風・土砂災害などの自然災害からの『安心と安全』のための準備が必須です。その上に、地域の繋がりが大切だと思います。**過去の災害の被災状況を見ると、高齢者の被災が一番です。『高齢者同士と隣近所のつながり』があることで、被害を最小限に抑えられるといわれています。これは、日常的な生活でも同様です。これまでも市星連の皆さんには、防災だけでなく、通学路の見守り活動などにもお世話になっています。今後とも宜しくお願いします。

私部城跡地を市民公園に

泉原　市長にお願いがあります。**今、高齢者は気軽な『つながり』を求めている方が多い**のです。私達のように市星連に参加している者は『つながり』が出来ますが、もう少し気軽に、ふらっと寄って、しゃべって、聞いて、過ごせる場所が欲しい方がいらっしゃるのです。交野も空き家が多いと聞きます。それらを活用できませんか？

市長　ご提言、ありがとうございます。直ぐに、『空き家対策』として採用するとはなりませんが、担当部署と協議して、対応したいと思います。

司会　最後に、市長一言。

市長　これまでも市星連の皆さんには、様々な場面で市政を支えてくださり、心から感謝しています。皆さんの活動は、参加されている皆さんだけでなく、地域全体の元気につながっています。これからも、無理なく、楽しみながら、仲間との繋がりを大切に活動をお願いします。

青山・泉原・司会　市長、本日はお忙しい中、ありがとうございました。ご活躍を祈念します。

今号の 一番星☆CLUB☆

森友クラブ　天野　守

森友クラブの歩みと今

森区森友クラブは、1961年（昭和36年）4月1日に交野町長寿会の森支部として創設され、その後、森老人クラブと改称され、2003年（平成15年）に森友クラブとなり、現在に至っています。現在59名の会員が在籍しています。

同好会活動は、最高齢の91歳がゴルフ同好会のメンバーとして、元気で頑張っている仲の良いクラブです。すみれ会は女性の方が対象で実用的なバッグや、11月開催の健康フェスティバルの作品展への作品作りや、きめこみ飾り、昔のテラリュウム、またご主人のネクタイで作る世界に1つだけのネックレス等の作品作り、また七夕飾り付けや、森区の盆踊りの踊り子や森友メンバー全員で、出店の事前の用意また売り子として頑張っています。社交ダンス同好会は、星友クラブ大会で仮面舞踏会の『オペラ座の怪人』を妖艶なダンスを、また『カゾドプレ』の優雅なステップを披露、また吹矢同好会では、姿勢を正し呼吸を整え両手を上げ構えてひと吹きで10M先の的に命中させる、そして呼吸を整え治し終了。わなげ同好会は300点のパーフェクトを目指し懸命に頑張ってます。カラオケ同好会は40～50年前の懐メロも有り若かりし頃の歌や、聞いた事の無い歌が出てくる楽しいグループです。さんさく同好会は、ランチも風景も楽しむ、身も心も満足させる粋なグループ。健康マージャン同好会は初心者が一番多い中、指導者が一番大変で大奮闘、捻りはちまき、汗が噴き出てたまりません。

『元気で幸せな、長生き人生』の合言葉に、皆で楽しく挑戦していきます。

交野市福祉大会で、社交ダンス同好会の活動成果を発表

健康麻雀を楽しむ会員の皆さん

ご協賛各位へのお礼

この度は「交野星友」第78号の広告のご協賛をいただき誠にありがとうございます。これからも会員の皆さまの心を繋ぐ広報誌として努力してまいります。今後ともご支援よろしくお願いいたします。

市星連

編集後記

連日、国会議事堂前をメイン会場とし、全国各地で、「憲法守れ!」「戦争反対!」の集会・デモが起こっている。交野でも枚方でも。私達の先輩たちは、500万の命をかけて、今の憲法を勝ち取った。そのことを忘れ?、戦争を金儲けの手段にしようとしている政府と経済界の一部。しかしマスコミは、これらの動きを国民に伝えない。「戦後の反省」はどこ行った。悲惨さ苦しさ辛さを知っているのは、私達高齢者だ。熊の出現で右往左往する間隙をついて、子どもたちをも巻き込んでジワジワと当たり前のように浸透していっている。今こそ老人パワーが必要な時か。（部会長）

交野市星友クラブ連合会
新規会員募集
「健康」と「生きがい」を新しい仲間と一緒に見つけませんか?
お問い合わせ
交野市立保健福祉センター（ゆうゆうセンター）高齢介護課
☎072-893-6409